

2018 日本ダイカスト会議・展示会 出展の御案内

2018 日本ダイカスト会議・展示会では、

「**We Deliver World Class Performance** ～『いいもの』を世界に～」を出展テーマに掲げ、各種新技術の紹介を行います。出展要領につきましては、下記ご参照の程、お願い申し上げます。

記

≫会期：2018年11月8日（木）～11月10日（土） 09:00～17:00 （8日は09:30より）

≫場所：パシフィコ横浜 展示 C,D ホール （当社ブース No.A-16）

≫ダイカスト展示会出展テーマ：We Deliver World Class Performance ～『いいもの』を世界に～

≫出展内容：

【ボディー・シャーシ系部品のダイカスト技術への取組み紹介】

近年、自動車の燃費規制・排ガス規制が強化され、燃費改善の為に車体軽量化が進んでいる。

そこで今注目されているのがボディー・シャーシ系構造部品のアルミダイカスト化である。

これらのニーズに対応する為、弊社が独自開発した同部材用ダイカスト生産システムを紹介する。

- ・新射出ユニット、高真空技術（スリーブ真空装置）を大型モニターで MC プレゼンテーション
- ・ショックタワー他、ボディー・シャーシ系部品のサンプル展示

【新機種 UB350iSm ダイカストマシン】



- ・新機種 UB350iSm ダイカストマシンの実機を展示

・UB350iSm の特徴

1. リアルタイムフィードバック制御により、高度な繰り返し精度と射出安定性を実現したハイパフォーマンスショットコントロール：S-DDV を搭載
2. ランアラウンド回路を採用し、ACC ガスを抜くことなく、昇圧時の標準モード・低圧モードの選択が可能（メタル圧設定可能範囲：30%～100%）
3. 2ACC システムにより、射出速度と昇圧工程を独立制御。高充填力かつ安定した速度制御を実現
4. 高精度、改良型高剛性型締装置を採用
5. 新 HMI CastNavi Lite 搭載

【UBE Die Casting Machine Line-Up】

- ・大型機；UB- iV シリーズ、2 枚プラテン UH シリーズ、
- ・中型機；UB-iS3 シリーズ、UB-iC シリーズ（中国生産機）

【UBE R&D Showcase】

- ・ハイブリッドフィルキャストリング（HFC）のパネル紹介及び4個取りナックルのサンプル展示
- ・鋳造シミュレーション ADSTEFAN、キャストソリューションサービスのパネル紹介
- ・ICT活用の取組み

【UBE Total Service】

- ・サービス起源商品をパネルで紹介
- ・当社独自開発による直動式電動サーボバルブ(HS-DDV)、
コントローラレトロフィットキット(S-DDVR)の実機展示

ダイカスト会議

»研究論文発表、現場改善事例発表：

講演 1

講演：「自動車用大型構造部材のダイカスト鋳造技術」

日時：2018年11月10日（土）13:50～14:20

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール F203～206

発表者：技術開発部 村上、田中、小江、釧 石橋

講演：近年の環境規制強化により、自動車においても厳しい排ガス規制や軽量化が要求されている。このため、従来の駆動系のアルミ化だけではなく、自動車重量の約1/4を占める車体構造部のアルミ化、マルチマテリアル化が進展中である。このような背景からリブ構造の複雑形状や複数部品の一体化が可能なアルミダイカスト品が、自動車用大型構造部材に採用される機会やエリアが急速に増加、拡大している。そこで、本報では、代表的な自動車用大型構造部材であり、今後も採用が増加すると予測される「ショックタワー」に着目し、ダイカスト成形に必要な技術の確立や射出装置の開発を行う中で、新たに開発した高真空システムと、投影面積が大きく、製品肉厚が薄いためにキー技術となる短時間充填や短時間昇圧が、圧力伝達率や製品品質へ与える影響について報告する。

講演 2

講演：「ダイカスト設備における保全性の向上及び環境との調和への取組み」

日時：2018年11月10日（土）14:40～15:10

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール F201～202

発表者：成形機サービス部 海原

講演：過酷な使用環境におかれるダイカスト設備を、性能を維持しながら安定稼働させていくためには、効果的な保全活動が必要不可欠である。

加えて近年、世界的に“2つの環境”、即ち、**Environment**（地球環境、工場環境）及び**Surroundings**（社会環境、作業環境）への関心の高まりにより、ダイカスト設備においてもこれらへの配慮が必須条件となっている。弊社は、ダイカストマシンメーカーとして、お客様のニーズに取り組む事とともに、これらの課題に対し独自のノウハウを駆使する事で数多くの実績を積んできた。本報では、それらのなか、既存ダイカスト設備における保全性の向上と、環境の調和を目指して取り組んできた改善活動事例の一部を紹介する。

以上